

# Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む —



## 2008 年 4 月 大学院 開設

- 総合研究棟(7号館)、学生ホール棟 完成
- 2007 就職戦線を振り返る
- キャンパストピックス
- ホームページがリニューアル
- 2008 年度行事予定表(4月～9月)

編集／発行  
愛知工科大学  
愛知工科大学自動車短期大学  
入試広報センター

〒443-0047  
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2  
TEL. 0533-68-1135  
URL. <http://www.aut.ac.jp/>

# 大学院 博士前期課程・博士後期課程 同時開設



— モノづくりの実学教育に加え、研究体制を確立 —

平成 20 年 4 月、愛知工科大学は「愛知工科大学大学院工学研究科システム工学専攻」を開設します。

大学院では、モノづくりのための「システム工学」という視点から、機械、電気・電子、情報における各分野から技術を融合させたシステム応用までの技術分野の教育・研究を進めます。

先端技術分野の教育を中心として、地域産業に密着した独創性豊かな優れた研究者、高度専門技術者・職業人などの育成をめざしていきます。

具体的な人材育成像は以下のようなものです。

- ①高い倫理性、地球環境に理解の深い人材
- ②地域産業界の発展に寄与できる人材
- ③モノづくり技術、自動車関連技術を中心としたシステム工学技術者
- ④機械、電気・電子、情報技術分野を包括したシステム技術者

学部卒見込み者のほか、社会人からも人材を募ります。

大学院開設に合わせ、9 階建ての総合研究棟「7 号館」が完成します。自動車運転中のドライバーの動作解析や視線計測ができるリアルタイム 3 次元動作解析装置やドライビングシミュレーター、3 次元曲面精密加工システムなど、大型研究設備が新たに導入されます。名古屋市熱田区にサテライトキャンパスも設置され、昼・夜間の講義や情報端末によるゼミ、スクーリングで研究の利便を図ります。

本学は、昭和 62 年 4 月に「愛知技術短期大学」を開学し、平成 12 年に「愛知工科大学」を開学しました。平成 20 年 4 月の大学院設置で学部から大学院への教育研究体制が完成します。

大学院生は、博士前期・後期課程ともに、入学時に希望する研究テーマを提示させ、その要望に応える教員を研

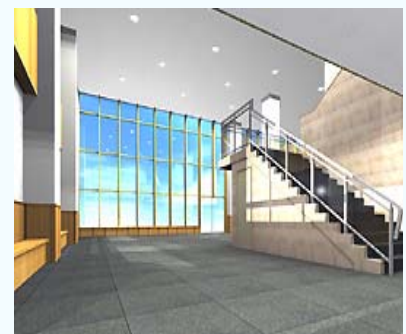
究指導教員とし、同時に研究指導補助教員を配置して、充実した複数の指導体制を実施します。

大学院生の研究テーマが複数の研究領域に関係する場合は、その研究領域に専門の異なる複数の教員が指導を行うことによって、多様な観点から高度な研究ができるよう充実した研究体制を実現します。



## 9 階建ての総合研究棟「7 号館」と学生ホール棟完成

平成 20 年 4 月、総合研究棟「7 号館」と学生ホール棟が完成します。9 階建てのインテリジェントビルには、スタジオやマルチメディア実習室、ロボット実習室などのほか、講義室や研究室が新たに配置されます。また、隣接する、新学生ホールは学生の癒しスポットになることでしょう。



# 就職指導課

個々の適性と希望に応じた就職を実現

## ■2007 就職戦線を振り返る

企業の業績回復と団塊世代の大量退職による人材不足を背景にスタートした就職戦線。

本学への求人数もGW前には大学 5,000 名 (求人倍率 35 倍) 短期大学 1,000 名 (同 6 倍) に達し、「大量採用時代」の「超売り手市場」を実感する 1 年でした。特に中部地方は、自動車やハイテク家電などの外需が好調で、戦略的な大型設備投資が続いております。

こうした背景のなか、学生の動きも好調で、3 年の夏休みから始めた就職ガイダンスの成果もあって、例年より早く内定者が続出する一方で、重複内定によって最終的な就職先が決められないケースや売り手市場に甘んじて、就職活動に出遅れる学生も見受けられました。

就職活動は、自分と職業との関わりを考える絶好の機会です。

まずは「行動に移すこと」「最後まであきらめないこと」さらに「夢をもって楽しみながら実践すること」が成功の秘訣です。

本学は創立以来、「就職に強い大学」として、毎年 95% を超える就職実績を誇り、多くの経済誌や情報誌にも取り上げられてきました。これからも、先輩たちの頑張りや伝統を引き継いで、就職活動を通じて、勤労観や職業観を養い、人間的にも大きく成長してほしいと思います。



就職講座を受講する学生

## ■2008 就職戦線がスタート

平成 20 年 2 月 6 日 (水)・7 日 (木) の 2 日間で大学・短期大学合同の学内企業説明会を開催しました。



学内企業説明会 (本学 体育館)

## ■就職講演会を開催

### 大学

3 年を対象に就職講演を開催しました。講演テーマは、「企業の求める人材像」で、講師は地元(蒲郡)が誇る日本を代表するグローバル企業の「株式会社ニデック 人事部長 仲井通泰様」をお招きしました。ビジネスのグローバル化とそれに対応できる人材の必要性から「世界・違い・気概」を合言葉に、積極的な海外進出と技術の差別化をめざした事業展開によって、高い目標を掲げ達成しようとする意欲のある者や「一専多能」人材を求めていることが示されました。さらに、経済産業省が提唱する企業が求める「社会人基礎力」として①アクション (前に踏み出す力) ②シンキング (考

え抜く力) ③チームワーク (チームで働く力) の 3 つの能力とそれらを構成する 12 の要素について、ニデックの求める人材像にアレンジして、紹介されました。

思いやり・公共心・倫理観などの人間性 (人間力) を基本的な生活習慣を通じて身につけ、そのうえに基礎学力や専門知識・社会人基礎力を高めていくことを期待されていました。

会場には昨年を上回る 163 社の企業にお越し頂き、採用担当者からの熱いメッセージに本番を控えた学生の眼差しも真剣そのものでした。面談ブースには採用担当者に連れられた卒業生たちもあちこちで見られ、恩師との久しぶりの再会を懐かしみ、最後まで母校 (後輩たち) に熱いエールを送っていました。

え抜く力) ③チームワーク (チームで働く力) の 3 つの能力とそれらを構成する 12 の要素について、ニデックの求める人材像にアレンジして、紹介されました。

思いやり・公共心・倫理観などの人間性 (人間力) を基本的な生活習慣を通じて身につけ、そのうえに基礎学力や専門知識・社会人基礎力を高めていくことを期待されていました。



大学 就職講演

### 短期大学

1 年生を対象に「CS 教育講座」が 2 日間にわたり開催されました。講師には、後援会「愛技会」の会長である「トヨタカローラ愛豊株式会社 管理部人事グループ課長 倉地晃弘様」にお越し頂きました。

自動車販売店に求められる CS (Customer Satisfaction/お客様満足) について、その背景やメカニックとしてどのように考え、行動すべきで

あるかを学ぶ有意義な講座となりました。



短期大学 就職講演

# CAMPUS TOPICS

## 安城南高等学校 3 年生が体験実習に訪れました

平成 19 年 5 月 31 日 (木)、愛知県立安城南高等学校の 3 年生 6 名が総合学習授業で本学の実習を体験しました。

体験したのは「ホンダ製 4 サイクルエンジンの組み立て実習」。生徒は 2 人 1 組でバラバラに分解された単気筒エンジンを組み立てました。4 時間の実習でしたが、生徒の皆さんは真剣に取り組んでいました。

体験した皆さんから「組み立てるのは難しかった」「エンジンの中身が分かったので良かった」「初めてエンジンを組み立てたので、最後にエンジンを動かした時はとても感動しました」「進学の道に新たな希望ができました」との感想を頂きました。



エンジン組み立て実習の様子

## 蒲郡技術科学振興会主催 第 9 回公開講座開催

平成 19 年 7 月 11 日 (水)、蒲郡技術科学振興会主催 第 9 回公開講座が蒲郡商工会議所コンベンションホールで開催されました。

本学からは、機械システム工学科今輩倍正名教授が「BRICs 諸国および東南アジアの生産技術を垣間見て」をテーマにアジア諸国の工業化に向けた目覚ましい変化を紹介。自動車工業学科 橋本孝明教授は「ガソリンエンジンは“ひとり三役”のエンジンだ！」をテーマにエンジンの特徴、仕組みについて講演しました。

## 幸田高等学校との 高大連携 情報集中講座実施

平成 19 年 8 月 2 日 (木) に愛知県立幸田高等学校との「高大連携 情報集中講座」が行われました。

幸田高等学校の 3 年生 34 名が本学メディアセンターにおいて Microsoft Excel について授業を受けました。午前中は情報メディア学科 准教授 加藤高明先生による「マクロ」の作り方と実行方法、午後はロボットシステム工学科 准教授 野中登先生による VBA (Visual Basic for Applications) を使用したプログラミング言語の基



本学メディアセンターにて

本文法とプログラムの作成・実行法についてを受講しました。

普段の授業と違った雰囲気の中で、少し緊張しながらも実用的な授業内容に興味を持って、真剣に取り組まれていました。

## Dream Cup ソーラーカーレース鈴鹿

平成 19 年 8 月 4 日 (土)・5 日 (日) Dream Cup ソーラーカーレース鈴鹿 2007 にソーラーカー部の学生が参戦しました。

ソーラーカーは A チームが 8 名、B チームが 6 名で製作を行いました。

A チームは昨年度の車両を改造して大会に臨みましたが、製作の進捗が遅く、大会への出発日当日に車体が完成しました。また、B チームはゼロからの製作となりました。

A チームは昨年のバッテリー切れ (途中リタイヤ) の体験を活かし、消費電力を考えて挑みましたが、大会前日の試走会においてデータを収集し



スタート準備をする A チーム

た結果、消費電力が多いことが判明。そこで、フロント部分の設計を急遽変更、本番の 4 時間を無事完走することができました。

B チームは、7 周目に車両のステアリング系が壊れ、走行不可能に。残念ながら完走することはできませんでしたが、メンバー達は達成感を味わっていたようです。

次年度は、前面投影面積を少しでも減らすように工夫し、参戦したいとのことでした。



モノづくり工房での製作風景



ピット前での様子



参加車両が並ぶピット

## オープンキャンパス 模擬講義・実習にチャレンジ

平成 19 年 6 月 23 日 (土)、7 月 21 日 (土)、8 月 4 日 (土)・25 日 (土) の 4 回、模擬講義・体験実習をメインにしたオープンキャンパスを開催し、約 600 名が参加しました。

参加者の皆さんには、ロボットの製作、パソコンの組み立て、デジタルアニメーション、キットカーの組み立てなどの講義・実習から、興味のあるものを選び、体験していただきました。

研究室開放、キャンパスツアー、個別入学相談も行われ、参加した皆さんからは「楽しかった」「もっとやりたかった」といった声を多く頂きました。



実習風景

### 平成 20 年度 オープンキャンパス開催日

6/21 (土)、7/19 (土)

8/9 (土)、8/23 (土)

いずれも 10 時～16 時

参加申し込み・お問い合わせ先  
入試広報センター

電話 0533-68-1135  
メール nyushi@aut.ac.jp

## 「ひらめき☆ ときめきサイエンス」開催

日本学術振興会主催による科研費成果の一端である「ひらめき☆ときめきサイエンス」が平成 19 年 7 月 28 日

(土) と 8 月 11 日 (土) の両日にわたり本学で開催されました。

茨城県や福井県からの参加者も含め、中学生 41 名とその保護者 27 名が参加され、ロボットの組み立てからプログラミングまでを体験しました。

## 蒲郡市 親子ロボット教室開催

平成 19 年 9 月 1 日 (土)・2 日 (日) に蒲郡市主催の親子ロボット教室が開催され、本学の学生と教員がロボットの組み立てやプログラミングのサポーターとして参加しました。

81 名の小・中学生がロボカップジュニア大会をめざして熱心にロボット製作に取り組みました。

講師には「こども理科離れをなくす会」代表の京都大学の北原先生が加わり、金原蒲郡市長も応援に駆けつけられました。



製作したロボットを動かす小学生

## 愛知県高等学校工業教育研究会 電気部会開催

平成 19 年 9 月 19 日 (水) 愛知県高等学校工業教育研究会電気部会の第 2 回研究会が本学で開催されました。

愛知県内の工業系高等学校 19 校の教員 33 名が参加され、本学でのロボット教育についての講義とロボット教材による実習を体験されました。

高等学校での授業に活かされることが期待されます。

## ECO CAR FESTA 2007 Bクラス 優勝

平成 19 年 9 月 30 日 (日) 大阪府にて開催された「ECO CAR FESTA 2007 in 泉大津フェニックス」にソーラーカー部が参戦し、Bクラスで優勝しました。

競技は、周回ごとのタイムの正確さを競うラリーで、ソーラーカーの性能

## 堀川エコロボットコンテスト 2007 「工作賞」「ものづくり奨励賞」受賞

平成 19 年 8 月 26 日 (日) 名古屋工業大学/名古屋堀川ライオンズクラブ主催の「堀川エコロボットコンテスト 2007」が名古屋 宮の渡し会場で開催されました。

コンテストの趣旨は名古屋の母なる川「堀川」の浄化・美化に「ものづくり」の心で挑戦するエコロボットのコンテストです。

本学からは微細気泡(マイクロバブル)により水質の浄化を研究している千葉研究室が川の浄化を考え、微細気泡(マイクロバブル)を水中に撒きながら航走する船で参加し、「工作賞」「ものづくり奨励賞」を受賞しました。

■チーム名「AUT千葉研究室」

■ロボット名「気泡排出型水力船」

■参加メンバー

機械システム工学科 4年 内田智也、  
平澤悟、若林一矢 / 教授 千葉規胤

「工作賞」を受ける  
内田さん「ものづくり奨励賞」  
を受ける若林さん

気泡排出型水力船

だけでなく、運転技術やチームワークも要求されるレースでした。



表彰式

## ものづくり工作センターに 「立体」プリンタ導入

ものづくり教育の一環として「3Dプリンタ」を“ものづくり工作センター”に導入しました。

このプリンタは、Z Corporation 製の「ZPrinter450」で、CADなどで作成されたデータから石膏粉を使用して立体印刷（造形）をするものです。

これまでは立体造形する場合は、マシニングセンタで金属の塊を削って作ることをイメージします。ところが、この「Z450」は石膏粉を薄くひき、接着剤を吹きつけ、その上にまた石膏の粉をひくことを繰り返して行なう積層タイプです。造形中も静かかつ、最



3Dプリンタから造形物を取り出す様子

速であり、空間物でもサポート剤を必要とせず、カラー造形もできる優れものです。

フジテレビ系「ザ・ベストハウス123」(8/29放送)、日本テレビ系「世界一受けたい授業」(11/3放送)でも取り上げられています。

なお、本学の「Z450」は国内1号機です。実物をご覧になりたい方は、ぜひ大学へお越しください。

## サッカーロボカップに 大西研究室の学生が参加

平成 19 年 12 月 16 日 (日) に近藤科学主催のサッカーロボカップ「kondo Cup」が国立博物館（東京上野）の大ロボット博会場にて開催され、大西研究室の卒研究生の山田和弘さん、大竹雄士さん、高橋信介さんの3名がチームで参加しました。

大勢の観客が見守る中での競技にやや緊張したためか、なかなかシュート・ゴールを決めることができず、上位入賞はできませんでした。しかし、ユニークなロボットデザインが会場の注目を集めました。



大会の様子

## がまごおりロボットシンポジウムが 開催されました

平成 19 年 12 月 22 日 (土) に蒲郡市主催、愛知工科大学後援による「がまごおりロボットシンポジウム」が蒲郡商工会議所で開催されました。

中部経済産業局の佐々木企画課長による講演、本学の西大教授がコーディネーターを務めたパネルディスカッションが行われ、多くの市民が参加されました。併設の展示コーナーでは、本学のロボコン参戦ロボットや企業のサービスロボットによるデモンストラレーションも行われました。



パネルディスカッション

## 第 8 回 大学祭

### 秋晴れの中、高校生や市民でにぎわう

平成 19 年 10 月 20 日 (土)、21 日 (日) の 2 日間、大学祭 (AUT 祭) が開催されました。

今回のテーマは「vorwärts (フォアヴェルト)」。ドイツ語で「前進」を意味します。歴史としてはまだまだ浅い大学ですが、常に「前進する大学」をめざすという想いが込められています。

4 号館前のステージでは、軽音楽同好会によるライブやジャグリング同好会による大道芸のほか、アイドルフェスも開催され、リトル☆レンズやGTP、平井喜美ほか多数がライブを行いました。さらに吉本興業から、くまだまさし、出雲阿国が出演してお笑いライブも行われ、会場は笑いと熱気に包まれました。



ステージでのライブ

ぜっばちワンダーランド (イベントクラブによるアミューズメント) や、ロボ部のロボット体験には開催時間前から地元の小学生が多数訪れ、ゲームやイベントを楽しみました。

各研究室の工夫を凝らした展示や技術体験で来場者はモノづくりの楽しさを実感されたようです。

このほかにも、キャンパス内では公開講座や各学科の学科展、模擬店など、さまざまなイベントが開かれ、地元の方や高校生、保護者の方などが大勢来場されました。



模擬店も大成功



ロボットを操縦してお菓子をゲット

# 研究室訪問

## 情報メディア学科 小塚研究室

I T S (高度交通システム) とは、情報通信・エレクトロニクス・制御などの先端技術を用いて交通の安全性向上と環境改善、渋滞緩和、快適性向上などをめざす国家プロジェクトとして産官学で推進されています。

小塚研究室では I T S の中でも主に安全性向上につながる以下の研究を実施しています。

1. 画像処理によるドライバーの視線計測の研究
2. アイマークレコーダーによるドライバーの視線計測の研究
3. 動体視力と視野の研究 ～高齢者と若年者の比較～
4. プローブカーの研究
5. E T C の要素技術である R F I D の研究

交通事故の原因は、脇見や居眠り、携帯電話の使用などヒューマンエラーによるものが主体となっています。そこで、運転中のドライバーの視線計測が重要と考えて 2 つの方法で研究しています。1. の画像処理によるドライバーの視線計測の研究は、近赤外パルス光照射と同期させた C C D カメラで人の顔画像を撮影し、プログラムで画像処理して視線方向やまばたきを検出します。2. の研究は、視線計測解析装置 (アイマークレコーダー) を用いて、実車運転中のドライバーの携帯電話使用時、i - P o d 操作時などの視線を計測しています。携帯電話通話時には前方へ視線集中し、ぼんやり見ているため非常に危険です。今後は、脇見や居眠りの検出、それに伴ったドライバーへの警告など、ドライバーの安全運転支援をめざした研究を進めます。

一般的に、動体視力や視野は年齢とともに衰え、特に高齢者では低下が著しいといわれています。3. の動体視力と視野の研究では、運転中の前方風景をスクリーンに流して運転時に似た環境を作り、特に高齢者の動体視力と視野に着目して計測し、解析しています。

プローブカーとは車速・ブレーキ ( A B S ) 操作など車そのものの各種情報を多数台から無線通信で収集後に処



理し、直近の渋滞情報、スリップ情報などとして車に無線送信して情報活用を図るもので、その基礎研究を行うのが 4. のテーマです。

5. の R F I D とは、電波を使って移動体の情報を自動的に認識する技術で、E T C (自動料金収受システム) のほか、自動改札用の T O I C A ( J R 東海 ) など幅広く活用されています。R F I D の基礎特性について調査研究しています。

平成 20 年 4 月には大学院修士課程・博士課程が開設されるので研究面での強化充実が必要です。3 次元動作解析装置、ドライビングシミュレーターなどの大型装置を導入予定で、今後は学内および企業との共同研究もめざします。小塚研究室では、これらの共同研究を広げつつ、安全運転の支援、渋滞緩和や環境面での向上につながる役に立つ研究に努力していきます。

### Profile

小塚 一宏  
教授・博士 (工学)

[専門] 画像情報工学、無線通信工学、交通工学 ( I T S )  
[経歴] (株) 豊田中央研究所



### 教授からひとこと

トヨタグループの株式会社豊田中央研究所から平成 14 年 4 月に赴任してから 6 年が経ちました。研究所では E T C (自動料金収受システム) の基礎開発をトヨタ自動車 (株)、(株) デンソーと共同で行いました。現在、高速道路の料金所を通過する車の 70% 以上が E T C 装着車というほど普及したので、開発に携わった者として感謝しています。もちろん、私も E T C を利用しています。

研究所で研究開発した先端技術や実社会で使われている技術を分かりやすく教えたい、就職など学生と企業との橋渡しをしたい、学生に親しく接したいという考えで赴任したので、その実現に向けて努力しています。

活気があって和気あいあいの研究室だと思っています。興味ある方は、ぜひ研究室をお尋ねください。

平成 20 年度 年間行事予定表 (4 月～9 月)

4 月			5 月			6 月		
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	火		1	木		1	日	
2	水		2	金		2	月	DK3 インターンシップ事前研修②
3	木		3	土	憲法記念日	3	火	
4	金		4	日	みどりの日	4	水	
5	土		5	月	こどもの日	5	木	DK4 就職活動状況調査
6	日		6	火	振替休日	6	金	M2 就職活動状況調査
7	月	平成 20 年度入学式	7	水		7	土	
8	火	M2JKR2DK3 学生朝礼 M12JKR12DK3 オリエンテーション JKR12DK3 履修登録 M2 就職活動状況調査	8	木		8	日	
9	水	DK4 学生朝礼 M12JKR12DK4 オリエンテーション M12JKR12 健康診断 DK4 履修登録 DK4 就職活動状況調査	9	金	火曜日の授業	9	月	
10	木	M1JKR1 オリエンテーション DK34 健康診断	10	土		10	火	
11	金	M12JKR12DK34 授業開始	11	日		11	水	
12	土		12	月		12	木	
13	日		13	火		13	金	
14	月	DK4 就職個人面談(25 日まで)	14	水		14	土	第 1 期 編入学試験
15	火		15	木		15	日	
16	水		16	金	M2 社会研修会	16	月	DK3 インターンシップ事前研修③
17	木		17	土	M2 社会研修会	17	火	
18	金		18	日		18	水	
19	土		19	月		19	木	
20	日		20	火		20	金	
21	月		21	水		21	土	夏季オープンキャンパス
22	火		22	木		22	日	
23	水		23	金		23	月	DK3 インターンシップ事前研修④
24	木		24	土		24	火	
25	金	DK3 インターンシップ説明会	25	日		25	水	
26	土		26	月	DK3 インターンシップ事前研修①	26	木	
27	日		27	火		27	金	
28	月		28	水		28	土	
29	火	昭和の日	29	木		29	日	
30	水		30	金		30	月	
			31	土				

表中の記号について

表中の K、R、J、M、D は学科を数字は学年を表します。

K：機械システム工学科

D：電子情報工学科

R：ロボットシステム工学科

J：情報メディア学科

M：自動車工業学科



7 月		
日	曜	行事
1	火	
2	水	
3	木	M1 第1回就職ガイダンス
4	金	
5	土	教育懇談会(富山)
6	日	教育懇談会(長浜、高山)
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	教育懇談会(長野)
12	土	教育懇談会 (名護、宮古島、松本)
13	日	教育懇談会 (那覇、尾鷲、飯田)
14	月	
15	火	M1 就職ガイダンス (自動車メーカー講演会)
16	水	M1 就職ガイダンス (自動車メーカー講演会)
17	木	M1 就職ガイダンス (自動車メーカー講演会)
18	金	
19	土	夏季オープンキャンパス 教育懇談会(沼津、金沢)
20	日	教育懇談会(浜松、福井)
21	月	海の日 教育懇談会(静岡)
22	火	
23	水	大学 授業終了
24	木	短期大学 前期授業終了
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

8 月		
日	曜	行事
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	全国自動車短期大学協会 ／発表会
6	水	全国自動車短期大学協会 ／研修会 DK3 第1回就職ガイダンス KRJ2 第1回SPI試験 DK3 職業適応検査
7	木	
8	金	
9	土	夏季オープンキャンパス
10	日	
11	月	校舎閉鎖日
12	火	校舎閉鎖日
13	水	盆休み
14	木	盆休み
15	金	盆休み
16	土	校舎閉鎖日
17	日	
18	月	DK3 インターンシップ開始 (9月3日まで)
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	夏季オープンキャンパス
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	3年次編入者特別授業
28	木	3年次編入者特別授業
29	金	3年次編入者特別授業
30	土	
31	日	

9 月		
日	曜	行事
1	月	3年次編入者特別授業
2	火	3年次編入者特別授業
3	水	3年次編入者特別授業
4	木	JKR1DK234 学生朝礼 オリエンテーション JKR1DK234 履修登録 DK3 第2回就職ガイダンス
5	金	M2 学生朝礼、オリエンテーション M2 ビジネスマナー講演会
6	土	
7	日	
8	月	M1 学生朝礼、オリエンテーション
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	秋分の日
24	水	
25	木	DK3 第3回就職ガイダンス
26	金	
27	土	キャンパス見学会
28	日	
29	月	
30	火	

大学祭

10月18日(土)・19日(日)

## I N F O R M A T I O N

## お知らせ

## ■教務課・学務課

## 平成 19 年度教育懇談会報告

教育懇談会は、本学と保護者との連携のもとに相互理解を深め、学生への指導に役立てるため実施しています。

昨年は、6 月 30 日～7 月 16 日の間に富山、長浜、高山、長野、松本、飯田、尾鷲、金沢、福井、沼津、静岡の 11 都市で、10 月 15 日～26 日の間に本学を会場に実施しました。

大学、短期大学併せて 565 名の保護者が出席され、学業成績、進級、就職、大学生活などについてクラス担任と熱心に懇談されていました。

保護者からは日頃の学習状況や就職・進級について多くの相談がありました。また、本学が平成 20 年度より大学院工学研究科を開設することから、大学院進学への受験対策や進学状況などの質問も目立ちました。

平成 20 年度も本学をはじめ、各都市で教育懇談会を開催いたします。保護者の皆様の多くのご参加をお待ちしております。

## ■学生課

## 奨学金制度について

経済的な理由により修学に困難がある学生に対して貸与される様々な奨学金があります。なかでも日本学生支援機構奨学金(貸与)は比較的利用しやすい奨学金で、全学生の約 10%が利用しています。4 月上旬に説明会があります。説明会の詳細は、学生ホールの掲示板にてお知らせします。

## 車両通学について

身体的理由、通学上公共交通機関の利用が不便などの理由や、その他自動車通学をせざるを得ない学生のために自動車通学を許可しています。許可を得るには 5 月までに申し込みが必要です。

なお、不正改造車など違法な車の乗り入れは厳禁です。

## 学生相談室について

勉学、就職(活動)や進路に関すること、下宿やアルバイトでのトラブル、自分の性格や友人関係、心身が不安定なときなど、あらゆる相談に応じ、解決の手助けをしています。1 人で悩まず、ぜひご利用ください。

## ■事務局

## 授業料などの納入が口座自動振替になります

平成 20 年度から授業料などの納入について、預金口座自動振替の制度を導入します。これは、学生本人または保護者(保証人)名義の指定口座から本学が自動で授業料など相当額を引き落としする制度です。全国の銀行・信用金庫・ゆうちょ銀行(旧郵便貯金)などの預金口座が利用でき、振り込みのために金融機関へ出向く必要がありません。なお、振替日は、前期 4 月 27 日、後期 10 月 27 日(金融機関が休日の場合は翌日)です。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

## スクールバスの利用について

J R・名鉄蒲郡駅南口から本学まで、スクールバスを運行しています(土曜・休日・学休日を除く)。1 日約 20 往復運行していますので、通学にはとても便利です。朝の通学時間帯のみ、J R 三ヶ根駅からも運行しています。一般の方も利用(無料)できますので、本学へ来校の際はどうぞご利用ください。

なお、バスの時刻は、本学 HP の交通アクセスに掲載しています。

## 20 年度 教育懇談会開催予定

地区	開催都市	日程	地区	開催都市	日程
甲信越 北 陸	富山県 富山市	7 月 5 日(土)	東 海	静岡県 沼津市	7 月 19 日(土)
	石川県 金沢市	7 月 19 日(土)		静岡県 浜松市	7 月 20 日(日)
	福井県 福井市	7 月 20 日(日)		静岡県 静岡市	7 月 21 日(祝)
	長野県 長野市	7 月 11 日(金)	沖 縄	沖縄県 名護市	7 月 12 日(土)
	長野県 松本市	7 月 12 日(土)		沖縄県 宮古島市	7 月 12 日(土)
	長野県 飯田市	7 月 13 日(日)		沖縄県 那覇市	7 月 13 日(日)
近 畿	滋賀県 長浜市	7 月 6 日(日)	本 学	愛知県 蒲郡市	10 月 14 日(火)
東 海	岐阜県 高山市	7 月 6 日(日)			10 月 24 日(金)
	三重県 尾鷲市	7 月 13 日(日)			

※ 開催時間、会場などのお問い合わせは 学務課まで

## 入試広報センター

### ■選抜奨学金制度

平成 20 年度入学試験より選抜奨学生試験（一般入学試験前期の学科試験問題を利用し、各学科の成績優秀者上位 5 名／大学 30 万円、短期大学 25 万円を給付）に、推薦入試などで合格した受験生もチャレンジできるようになりました。

これまで、一般入学試験前期の受験生のみを対象としていましたが、20 年度より改定されたものです。改定後、はじめて実施された今年度は、AO入試、推薦入試などで入学手続きをした 10 名が、一般前期受験生と一緒に受験しました。

結果、一般入学試験（前期）受験者 17 名と推薦入試での合格者 3 名が給付対象に選ばれました。

AO入試で合格した受験生のなかには、入学までの準備学習も兼ねて、選抜奨学生試験に挑戦した受験生もいました。

今後、AO入試や推薦入試などで合格した受験生にも奨学生試験にチャレンジしてくれることを望んでいます。選抜奨学金試験の詳細は、募集要項をご覧ください。

### ■社会人入試を実施しています

社会に出て就労経験をつんだ方々に広く門戸を開き、受け入れるため、20 年度入試から導入した社会人入試には、短期大学に 6 名の応募がありました。

本学の社会人入試は、現在就労しておられる方でも無理なく受験できるようにとの配慮から、試験日は設定していません。受験生の都合に応じて、相談して試験日を設定します。

### 21 年度 社会人入試募集概要

（大学／短期大学共通）

#### ○ 応募資格

高卒以上の学歴であり、社会経験（職業・家事に従事）を有する者。

#### ○ 募集期間

平成 20 年 11 月 1 日

～平成 21 年 3 月 2 日

### ■学内見学 随時受付中

大学の設備・施設の見学や個別入学相談に随時応じています。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

### 入学相談・見学 申込受付中

電話：0533-68-1135

メール：nyushi@aut.ac.jp

## メディア基盤センター

学内のキャンパスネットワークは、6 号館 3 階 メディア基盤センターのルーター、サーバ室を中心に学生、教職員向けに構築されています。

センターには、コンピュータを用いた授業を行う実習室があり、入口近辺は、学生が自由にインターネット利用の自習ができるテーブルも設置されています。センター入口右側のスタッフルームには、助教、技術員の 2 人がおり、学生および教職員からのコンピュータおよびネットワークのハードやソフトについての相談に対応しています。また、視聴覚などの AV 機器の使用願いについても受付をしています。

4 月に完成する 7 号館 5 階には、コンピュータソフトのライブラリー、ネットワークサーバ室、メディアスタジオが新設され、マルチメディア教室も 2 教室増設されます。IT 関連の教室、研究室とともに、メディア基盤センターの分室も設置され、本学のコンピュータ、ネットワークの情報環境はさらに充実します。ご期待ください。

## HPがリニューアル

ホームページがリニューアルしました。大学紹介やモノづくりの動画などに加え、各研究室の紹介もあります。

また、本学の特徴である“アットホームで人の温もりが感じられる”ことができるよう、「AUT FUN」といったコラムページも追加しました。AUT 教職員の出来事、趣味、研究などを集めた自由なコラムが随時更新されています。

例えば、機械システム工学科・掛布先生は趣味の釣りについての「晴釣雨酒」、林先生は鉄道ファンならではの「JRの確かな(?) 愉しみ方」、情報メディア学科・石川先生は趣味のオーディオについての「自称長岡教信者?」、加藤先生は「スポーツしてますか?」などです。

「AUT FUN」は大学のホームページでありながら、“ビックリ箱のおもしろさ”と“おもちゃ箱の楽しさ”をそなえた気軽なコンテンツです。

小さな大学だからこそ、アットホームで小回りが利く。これが本学の最大の特徴なのかもしれません。リニューアルしたホームページにはそんな「楽しさ」「温かさ」「まじめさ」がいっぱい詰まっています。

今後も随時更新をしていきます。ぜひ一度ご覧ください。



<http://www.aut.ac.jp/>

## 産学連携センター

■蒲郡市の一般市民および企業の技術者、実務者を対象に、第9回公開講座(平成19年7月11日)を開催しました。

■蒲郡市と岡崎市の企業の技術者、実務者を対象として、機械設計講座(平成19年7月19日～5日間)および機械加工講座(平成19年10月3日～4日間)を開催しました。

■東西三河地域の企業の経営者、技術者、実務者を対象として、ものづくりフォーラム～今後のものづくりを考える～(平成19年11月13日)を開催しました。このフォーラムは、本学と蒲郡技術科学振興会、蒲郡鉄工会が共催、蒲郡商工会議所ほか、近隣の7商工会議所、蒲郡市などの後援で、多数の出席者(4新聞社を含む)のもとで開催されました。

■ものづくり岡崎フェア 2008(平成20年2月14日、15日)では、愛知工科大学の研究紹介をしました。

20年度もこれらの事業を行う予定です。関心のある方は出席・参加してください。歓迎します。



ものづくりフォーラム

## ものづくり工作センター

ものづくり工作センターは、学生、教職員のためのものづくりに関する様々な支援と、蒲郡市をはじめ、地域の市民や企業と一緒に、ものづくり機運を盛り上げてゆくことを願って設立され、卒業研究、クラブ活動などに利用が広がっています。

昨年10月の大学祭では、地元の小中学生を対象にして3Dプリンタを使って、ものづくりグランプリ大会を開催し、60名以上の参加を得て、

## エクステンションセンター

学生の資格取得を支援することおよび、知的物的資産を活かした地域社会貢献を目的として、平成19年4月にリニューアルしました。

学生の資格取得支援のために、機械関係、電気関係、情報関係、自動車関係、船舶関係、語学関係など、様々な分野の有用な資格を調査検討して、円

滑な資格取得の道筋をつけています。

社会貢献の大きな柱として、蒲郡市などと協力し、平成19年7月には蒲郡少年少女発明クラブの設置に携わりました。地域社会への貢献のため、各種企画にも積極的に参加しています。

発足したばかりですが、平成20年度はさらなる充実飛躍をめざして頑張ります。

### エクステンションセンター 19年度社会貢献実績

依頼者	講座名	講座内容	参加者数
蒲郡市教育委員会	蒲郡少年少女発明クラブ	紙飛行機/やじろべえ	30名
		ペットボトル	
		竹細工で遊ぼう	
		竹とんぼ作り	
		クリスマスツリー	
蒲郡市西部小学校	ロボット体験	ロボット操作体験	西部小学校 3・4年生全員
蒲郡市	親子ロボット教室	ロボカップジュニア 競技用ロボット製作	小・中学生親子
蒲郡市文化協会	遊ゆう陶芸クラブ	陶芸	31名
蒲郡市教育委員会・生涯学習課	親子でチャレンジ! 工作教室	音に反応する 4足ロボット	親子48名
蒲郡市情報ネットワークセンター	シニアネットがまごおり	60歳以上の 初級パソコン教室	36名
蒲郡市生涯教育課 蒲郡市文化協会	親子陶芸教室	親子で陶芸を楽しむ	35名
蒲郡市教育委員会	物づくり教室	ボクシングロボットの 製作	45名



ロボット体験



シニアネット  
がまごおり

## 基礎教育開発支援センター

基礎学力を向上させたいと願う学生に対し、個別指導を当センターで実施して効果を上げていますが、利用者数が少ないのが現状です。周知を図るため、昨年10月よりホームページを立ち上げました。新年度から格段の利用者増を期待しています。

小・中学校の校長先生から大変感謝されました。

また、昨年はおもに蒲郡市内の鉄工会社の作業者を対象にした、機械加工に関する夜間講習会を蒲郡商工会議所で6回開催し、毎回夜遅くまで討論を行い大変有意義なものとなりました。

今年は、本格的な3次元曲面機械加工ができるマシニングセンターの設置を計画しています。今年も、さらに工夫して、センター活動を活発に行う予定です。

## 図書館

本学図書館の蔵書数は、約30,000冊です。平成19年度には、約600冊以上の専門書を購入しました。江戸科学叢書全46巻も含まれ、からくり、製薬、測量、和算など、多岐にわたる江戸時代の科学に関する貴重な古文書の復刻版が含まれています。今後も蔵書数の確保を考えています。

現在、図書館ホームページ立ち上げの設置準備を進めており、ネットワークを通じて、電子ジャーナルや他の図書館の書籍などの閲覧、検索利用の便が改善されます。

今後、図書館ホームページのオープンに伴い、地域市民のみなさんや企業様との図書館利用を通じた交流を深めるために、蒲郡市立図書館との連携協定の締結など、オープンな図書館利用計画を進めて行きます。

開館時間	
平日	9:00～19:00
土曜日	9:00～17:00